

# 市民スキー教室



レクリエーションを楽しみながら上達する、市民スキー教室を開きます。白銀の中を滑るさわやかさを味わってみませんか。皆さん

の参加をお待ちしています。

▼とき 二月二十七日⑩、市役所午前八時出発

▼ところ 日光湯元スキー場

▼参加資格 日光市民

▼コース ①親子コース ②一般コース(初心者・経験者)

▼参加申込 二月二十一日までに

▼参加人員 先着百名(自家用車での参加も可)

▼参加料 ①高校生以上 五百円 ②中学生以下 三百円

▼指導員 湯元スキー学校講師

▼その他 スキー用具のない方は一式千円で用意しますから、参加申込時に申し出てください。

## 第三十五回国民体育大会の

### テーマとスローガン募集

昭和五十五年、第三十五回国民体育大会が、栃木県で開催されます。県民総参加で栃木国体を成功させるため、この大会を象徴し、みんなに親しまれる、本県にふさわしい「テーマ」と「スローガン」を募集します。

▼作品の内容 ①テーマ(本県の特徴を端的に表現し、栃木国体の愛称にふさわしいもの) ②スローガン(栃木国体にふさわしい内容で、本県のイメージアップにつながるもの) ③応募方法 ①官製葉書で、一枚

につき「テーマ」「スローガン」いずれか一点を縦書きに。簡単な説明をつける。②住所・氏名・年齢・職業(小・中・高校生の場合は学校名と学年)・電話連絡先を記入 ③送り先 宇都宮市埴田一―一―二〇 栃木県国体事務局(☎〇二八六―二三―三三〇一―三) ④応募作品は自作未発表のもので、一人何点でも応募できる。

▼応募締切 五十二年三月十日  
▼発表 五十二年四月、本人に通知するほか、新聞などに発表。

## スポーツ大会の結果

- 第三回栃木県アイスホッケーCグループ前期大会
  - ▼優勝 中禅寺ダックス
  - ▼準優勝 レッドウイングス
- 第三回栃木県アイスホッケーBグループ前期大会
  - ▼優勝 宇都宮クラブ
  - ▼準優勝 N I C シロクマーズ
- 第三十二回国民体アイスホッケー競技県予選会兼第三回栃木県アイスホッケーAグループ大会
  - ▼優勝 別倉製作所(成年の部)
  - ▼優勝 中禅寺クラブ(少年の部)
- 第二回日光ライオンズクラブ杯少年アイスホッケー大会
  - ▼優勝 日光中学校(中学の部)
  - ▼優勝 中宮洞中学校(小学の部)
- 第一回関東高校アイスホッケー競技選手権大会
  - ▼優勝 日光高校
- 第三回日光市バスケットボール大会
  - ▼一般男子優勝 日光高校
  - ▼一般女子優勝 日光高校
  - ▼中学男子優勝 東中学校
  - ▼中学女子優勝 日光中学校



日発細尾発電所



現在の安良沢町

⑫ 日光初の県議会議員選出(明治36年) 栃木県議会は、明治12年12月4日、第一回の選挙が行なわれたが、日光からは、36年に初の県議会議員として、政友会の小林庄一郎(中鉢石町)が選出された。以後、明治40年に鬼平伊勢松(中鉢石町)、大正8年に山本忠吉(松原町)、昭和6年に鈴木久太郎(山内)を選出。戦後は、22年に南間栄・吉新安蔵、26年に南間栄・佐々木耕郎、30年に大類正次郎、34年・38年・42年に小平与平、46年・50年に松本春市の各氏が選出されている。

⑬ 中宮洞郵便局、夏季の電話営業開始(明治36年)

⑭ 細尾発電所の建設着手(明治38年4月) 日光精銅所と足尾銅山への送電を目的に、最大出力二〇〇〇ワット・常時出力一〇〇〇ワットの発電所建設に着手。翌39年7月7日に完成した。

⑮ 日光真光教会設立(明治38年8月9日) 米国人と日本人牧師が中心となり、日光町民への伝道を目的とした日本聖公会日光真光教会を設立、教会を御幸町と下鉢石町の個人宅に置いた。

⑯ 精銅所社員社宅第一号建設(明治38年) 日光精銅所の開所に先立ち、所長用社宅一棟が、社員社宅の第一号として、清滝字前原(現在の本館裏側)に建設された。次いで、吉原地内(現在の工場敷地内)にも社員社宅四棟二十四戸が建設された。

⑰ 日光町農会設置(明治39年4月1日) 農業改良を目的に、日光町農会が役場内に設置された。

明治32年公布の農会法により、田畑所有者と養蚕業者が組合員となり、初代会長には、後の八代目町長、西山真平が就任した。